

京都丹波スマート環境学習

活動を行う団体

京都府南丹保健所 <https://www.pref.kyoto.jp/nantan/ho-kikaku/1235608533601.html>
(京都丹波スマート環境教育推進プラットフォーム(※)と連携)

※ 京都大学 浅利准教授、同ロジャー・バース講師、京都先端科学大学 丹羽准教授、雪印メグミルク(株)京都工場、シヤトコ(株)八木地区、ニチコン亀岡(株)、(株)京都環境保全公社、京都府地球温暖化防止活動推進センター、田中環境カウンセラー、亀岡市教育委員会、南丹市教育委員会、京丹波町教育委員会、京都府南丹教育局等により構成

活動の概要

平成 29 年度に設立した産学公連携のプラットフォームの支援の下、平成 30 年度から、亀岡市、南丹市及び京丹波町の小学 4～6 年生を対象に事業を実施している。

SDGs の普及啓発を行い、自ら考え行動できる人材「SDGs パーソン」の育成を目指し、京都丹波地域の豊かな自然や地元企業等をフィールドに、体験型環境学習プログラムを実施している。

令和元年度は、夏休み期間中にプラットフォームの大学教員や企業が講師となり、「①廃棄物と気候変動」、「②自然環境」、「③企業の環境活動」をテーマに、体験活動(ゲーム、自然観察・調査、実験等)を通して環境や SDGs を学習する全 3 回のプログラムを実施した。

○第 1 回

【ワーキング】カバンの中のプラスチックを探してみよう
【英語による SDGs に関する授業】

○第 2 回

【アユモドキの生息環境調査】
【大堰川と湧水ワンドの水温調査】

○第 3 回

【工場見学】
【排水処理実験】
【SDGs カルタ】



SDGs パーソン



第 1 回 ワーキングの様子



SDGs ワークシート



第 2 回 水温調査の様子

優良事例のポイント

南丹地域の「環境」、「教育」、「持続可能な地域共生」の 3 つの価値を創出する「一石三鳥」の環境学習推進事業である。SDGs をメインテーマとしており、環境の枠にとらわれず、地域の持続可能性についても学習する機会となっている。

事前学習として、SDGs ノートを活用し、子どもたちがこれらのプログラムの学習を通じて、SDGs の達成のためにできることを SDGs ワークシートに行動宣言として具体化し、学習後に自発的に取り組んでいけるよう工夫している。さらに、タブレットを活用することで、学習の幅を広げ、学習効率を向上させている。